



広報

おゆみ

第43号

平成21年12月10日
発行：町内総務部
生実町会館 ☎268-1946

生実町ホームページ

<http://www.oyumi.com>

~~~~~伝統と創造のまち~~~~~

事業経過報告



町内会長 山本 広

慌ただしい年の暮れになりました。町内会会員の皆様におかれましては、お元気で過ごされたこととお喜び申し上げます。

6月の町民体育祭、8月の納涼盆踊り・花火大会、10月の奉納演芸・子供みこし、町内3大イベントが会員の皆様の御協力で何事もなく無事終了したことを深く感謝申し上げます。

新型ウィルスが猛威をふるっている今日この頃、第8回生浜地区体育祭（11月1日）は会員の皆様が楽しみにしていた体育祭ですが、感染拡大防止の観点から残念ながら中止することになりました。会員の皆様はお身体に十二分に注意して今年の冬を乗り切ってください。

生実池護岸（石積み）の改修が9月末で終了しましたが、引き続きバスレーンと歩道の整備に移ります。来年3月末

まで掛かりますので、町内の皆様にはご不便又御迷惑が掛かると思いますが、御協力の程お願いします。工事により伐採された桜ですが、当初は1メートル幅の植栽では低木

しか植えられないという事でした。ですが町内の皆様から桜並木の復活を願う声が多く聞かれましたので、市と話し合い、何とか根が石積みを壊さない方法で桜の木を植えられるよう交渉中です。生実池、生実川両脇の舗装工事並びに遊歩道の整備（ベンチ又水飲み場など）と一体化し、近い将来桜並木を眺めながら散歩が出来るようになることを願います。

7月29日千葉市防犯協会連合会から永年にわたり地区防犯活動に功労のあった個人・団体の表彰があり、生実町町内会が団体の部で防犯功労賞をいただきました。防犯安全パトロール・団体の部で生実町百寿会 会長 上原満郎氏、

同じく生実町川鉄OB有志の会 会長 堀美木夫氏、個人の部で矢部英一氏・佐久間和男氏が千葉中央警察管内防犯協会より防犯意識の啓発普及等

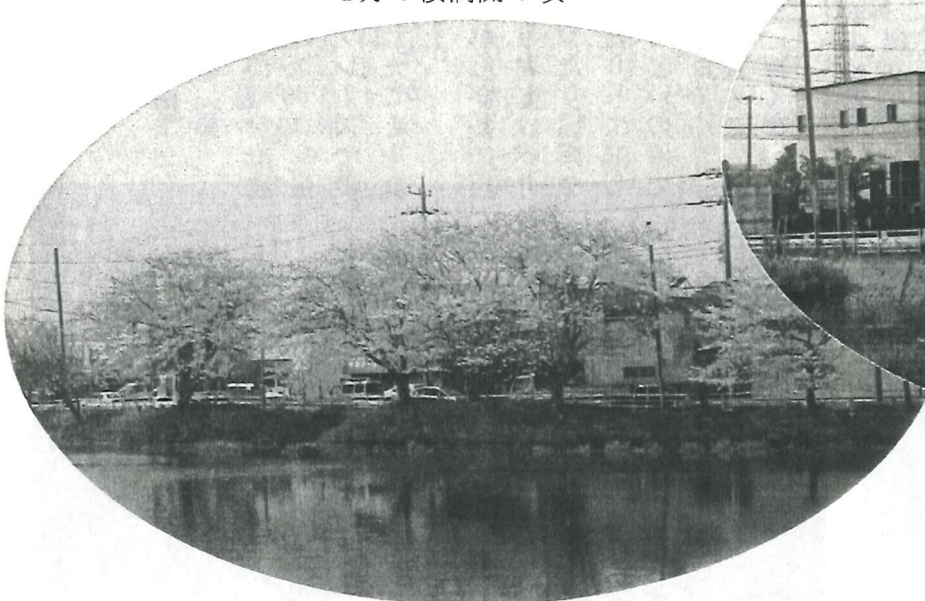
防犯活動に尽力し明るく住みよいまちづくりに貢献されたことより感謝状受賞されました。おめでとうございます。

又、全国老人クラブ大会（10月29日・30日 会場『なら100年会館』）において千葉市代表で生実町百寿会（会長 上原満郎氏）が優良老人クラブとして表彰されました。

防災で消防団員の減少が全国的な問題となるなか、昨年末市条例が改正され入団資格が市内在住から在勤・在学者に拡大。これを受け、淑徳大学地域支援室下部組織ボランティアセンター所属の学生で市内初学生消防団結成。隊員は女子十人を含む十八名。所属は、男子は千葉市消防第三分団一部（生実）、女子は千葉市消防第三分団三部（生実）に属し、市消防本部の秋元利夫副団長から辞令が交付されました。辞令を受けた平野隊長は地元消防団の先輩たちとともに防災技術と知識を高め、地域の皆様の役に立ちたいと今後の活動を力強く宣言していましたこと御報告申し上げます。

会員の皆様には町内活動に益々の御協力と御鞭撻の程を御願ひし、御家族健康で新年を迎えられますようお祈り申し上げます。

4月の桜満開の頃



9月の工事後

各部活動報告

総務部

部長 稲留 努

町内会の皆様方におかれましては、健康やかにお過ごしのこととお喜び申し上げます。

総務部長として、至らぬ点は多々ありましたが、組長さん、並びに諸関係各位、諸団体の皆様のお力添えを賜り、町内会の運営・諸行事等をこれまで無事に終えることができたことを、深く感謝申し上げます。今後ともご理解ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

【生実町町内会会長】

選考委員会発足

町内会規約により、来年の3月末日をもちまして、町会役員は任期満了となります。次期町会役員の選考につきましては、十月二十四日の合同会議で選考委員会が発足いたしました。

詳細は後日選考委員会より回覧板でご案内いたしますので、ご協力お願い申し上げます。

会計部

部長 中村 洋一

朝晩は寒くなり、本年も残り少なくなりました。町内会会員の皆様方には、日ごろより町内会活動にご理解、ご協力を賜りありがとうございます。特に組長さんの方々には、一年を通して各集金の際には大変ご苦勞をおかけ致しました。心より御礼申し上げます。

さて、生実町会館も築23年となり、

本年度より会館修繕、及び建て替え用の費用の積み立てを予算に組み入れさせて頂きました。これから生実町会館が多く活用されます事を願っております。

振り返りますと、国・県・市と政治は大きく変革した年でしたが私達の生活に良き方向を示すのか不安は残ります。本町会におきましては、会員の皆様がその様な思いを少しでも軽減できます様、残りわずかな任期ではありますが役員一同懸命に務めさせて頂きます。

結びに、会員の皆様、ご家族様が、新しき良き年を迎えられます様お祈り申し上げます。

環境部

部長 増田 文夫

町内会会員の皆様方には、日頃より、町内会活動へのご協力感謝しております。

さて、千葉市では、十月一日より家庭ごみの収集日と収集回数が変わりました。変わってから二ヶ月ほど過ぎました。大部分の方は、『ごみの出し方一覽表』の通り出してあるのですが、一部、時間外に可燃ごみを出してあったり、ダンボールを収集日以外の日に出したたりする、この様なことがあるようです。ごみの出し方が変わり、慣れない所もあるとは思いますが、ごみの出し方を守つて、ごみの再資源化(RECYCLE)、ごみをできるだけ出さない(REDUCE)、再使用(REUSE)を進めていきま

しょう。この三つをスリーアール(3R)と言つて循環型社会を目指すキーワードです。宜しく願います。

防災防犯部

部長 佐藤 薫

今年もあとわずかな日々となりましたが、会員の皆様は、いかがお過ごしでしょうか。

防災部の今年の活動のひとつとして、6月の町民体育祭で、昼食前の合同避難訓練を行いました。この訓練は大規模災害時に、リーダーの指示に従い、いかに安全な場所に迅速に行けるかを確かめるものでしたが、町会諸団体、地元消防団、そして皆様の協力のもとで実のある訓練が出来ました。又、8月の盆踊り花火大会、10月の秋季例大祭では、各組長さんの協力のもと大きな事故もなく無事終わり、大変感謝申し上げます。

まだまだ景気も悪く、犯罪も多い時期ですが、御家庭の中でも再度、災害時には何処に集まるかを、話し合つてもらいたいと思います。又、いつくるかわからない地震などに備えて、2、3日分くらいは飲料水の用意をしてもらいたいと思います。

文教体育部

部長 仲居 一彦

生実町町内会会員の皆様、日頃より町内会活動にご協力、ご支援、誠に有難うございます。

六月の体育祭を初めとし、八月の盆踊り花火大会、そして十月の神社祭礼行事といった町内三大行事を無事に終える事ができましたのも町内会会員の皆様のおかげだと感謝しております。

今年は、行事に新たな取り組みとして、六月の町民体育祭では防犯防災部を中心として避難訓練を、八月の盆踊りでは子供盆踊りを行う事に

より、子供から大人まで、町民の皆様が協力し合える場面が数多く見られました。

本来であれば、十一月の第八回生浜地区体育祭があり昨年の雪辱(第五位)をはたす為、頑張ろうと思つていたのですが、インフルエンザの流行により、やむなく中止という形となつてしまひ残念に思います。(生実町の力を発揮したかったあー！)

今年度も残すところ三ヶ月となりましたが、町民の皆様、どうぞ宜しくお願い致します。

生実町青年会

会長 秋元 俊一

日頃より青年会活動に多大なるご理解とご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

本年の青年会行事も、沢山の方々のお力添えを頂きまして、滞りなく終わらせる事が出来ました。

私共の活動内容である、町の行事や伝統を継承し、実行していく事は大変な事ですが、鯉幟を「すごい」と見上げる子供達、金魚をすくつて嬉しそうに笑う親子連れ、奉納演芸を歌や舞踊で盛り上げて頂いた出演者の方々やご声援を下さいました皆様。町内皆様方の笑顔が常に私共の力となり、会員一同力を合わせて乗り越える事ができました。

これからも少しでも多くの皆様の笑顔が見られるよう、一生懸命活動していく所存でございますので、今後とも青年会に変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。



花火大会(仕掛け花火設置作業)



奉納演芸(赤い陣羽織)

生実町婦人会

会長 増田 照子

生実町婦人会が昭和四十四年に発足して以来「婦人会」という名は、「懐かしい」と、ちまたでささやかれている程に歴史が深いのです。そんな私達婦人は、町内皆様のご支援をいただきながら、その伝統を継承し頑張っています。

町内会では、生実神社の初詣の甘酒づくりを初め、新年会・体育祭・盆踊大会・祭礼・敬老会等々の接待準備に協力・参加し、年末には生実町会館の大掃除で一年が終わり、もちろん婦人会の独自の行事としても新年会・忘年会、特に恒例の盆花販売は好評で大盛況です。又、親睦会があり、去る十月、栃木県の湯西川の旅を楽しみ、お天気にも恵まれすばらしい紅葉を満喫してきました。こうして町内の皆様、会員の皆様との交流を深め、より良い婦人会活動の推進に努めたいと思います。尚、楽しさいっぱいの婦人会の会員募集をしておりますので、是非、ご入会下さいますようお願い申し上げます。

(申込先)

会長 増田 照子 261-5001
副会長 木村 芳子 263-3774
副会長 田鎖 かづ子 261-2501



湯西川の旅 (婦人会)

百寿会

会長 上原 満郎

早くも師走を迎える時期がやって来ましたが皆様方にはお元気で過ごしの事とお喜び申し上げます。

日頃は百寿会活動に御理解御協力をいただき有難うございます。愉快な仲間百寿会はすでに百十数名に増えて参りました。会員活動も多岐にわたり、特に健康増進に励んでいる一方、地域に少しでもお手伝いをしようという会員ともども考えてくれています。その一つに早朝パトロールを毎日行っています。特に蘇我インターを降りた交差点付近は生浜小学校の通学路になつてゐるためパトロールを強化しています。

さて、私共の憲章の一コマに「好かれる老人、話せる老人、役立つ老



登下校のパトロール

人になる様努める」とあります。子供達にもこの意味を伝えようと声をかけパトロールをしています。

- 一、パトロール中言葉をかけ合う。
- 一、信号待ちしながら電柱に寄りかからないようにしよう。
- 一、横断歩道の縁せき上で信号待ちしない。一歩下がって待とう。
- 一、青信号になつても飛び出さない様にしよう。

など呼びかける日々理解してくれています。生浜小学校の皆さん、明朝、又、笑顔で会いましょう。

生実町子ども会

会長 稲留 努

町内会会員の皆様はじめ、町会役員、百寿会の皆様方ならびに諸団体の皆様には、常日頃から『子供は、地域の宝』をモットーに子供達の安全を見守っていただき、心より、御礼申し上げます。

又、年四回行われております廃品回収にも、多大なるご協力を頂き、重ねて御礼申し上げます。

子ども会の年間行事としましては町内会ならびに諸団体の催しをはじめ、東小学校区子ども会の各行事に参加協力させていただいております。具体的な行事としましては、一月は、餅つき大会。三月は、歩け歩け大会。四月は、ゴーゴーフェスティ



バル。六月は、町内運動会。八月は盆踊りならびに球技大会。十月は、子ども御輿。十一月は、火災予防子どもパトロール。その他、年間を通じての公園清掃(生実池公園・生浜公園)等の活動を行っております。

地域の皆様方が、いつも心温かく慈しみ見守って頂いている御恩に報いる為にも、我々子供を持つ親として子ども会活動を通じて、明日の生実町を背負って起つ子供を育成できればと考えております。

残念なことには、生実町も他の地域と同様に子ども会への加入率が、年々減少傾向にあります。今後の地域の発展の為にも、ふるってご加入いただけます様ご理解ご協力の程、宜しくお願い致します。

(入会連絡先)

稲留 二六三-七五三三

千葉市消防団第3分団3部

部長 長谷川 久子

全国一斉秋の火災予防運動最終日の十一月十五日(日)、千葉市消防団第3分団3部(生実町女性消防団)は、生実町子ども会と共に、午後六時から生実町内を「火の用心、マッシー本火事の元」と、元氣よく拍子木を打ちながら、歩いて回りました。



ボウリング大会開催

11月15日(日)生実商工業会主催、第15回ボウリング大会が盛大に開かれました。大勢の皆さんの参加があり、楽しい大会となりました。(於・リバーレーン)

次回も皆様の参加をお待ちしております。ありがとうございます。

生実商工業会一同
受賞者の皆様です。

- 一位 荒井さん
- 二位 田中さん
- 三位 深山さん



生実町との出会い

淑徳大学 磯 岡 哲也

生実町とかかわらせていただいていたから一年がたちました。それは、大学の研究所のプロジェクトと、ゼミ生のサービスマーケティングの教育という二つの面があります。

研究所の方は、町内会活動における伝統的文化の保持と次世代への継承の姿を通じて、地域の教育力を検証することが目的で、二十年度から三年計画で共同研究を進めています。

サービスマーケティングは、地域社会へのサービスマーケティングを通じて、学生自身が成長を感じることができ、ボランティアと実習の両方の利点を含んだ教育方法のことです。ここでは、活動を通じて学生自身が何を学び取ったか振り返ることが重要です。たとえば地域イベントでの活動を通じて、町内会の方々とやりとりから何を学んだかを文章にまとめ、それを発表し合い、質疑応答も行います。

ここで、学生諸君の文章を紹介いたします。

「町内会長さんをはじめ町内の方々は、私たちの学習に理解を示していただき、ただ運動会のお手伝いを望まれるのではなく、私達に様々な町内行事や役員の仕事を体験する場を与えてくださいました。とても有難い事であると感じます。今回の行事を通し、私

ちは初めて町内会で行われる運動会・避難訓練を見学し、様々な考えを抱く事が出来ました。」(体育大会)

「このように地域の人々が協力し合って町内行事をつくり上げることで、強い団結が生まれます。これが多くの人々の支持を得て次の世代に引き継がれているのではないのでしょうか。そうはいっても、少子化や核家族化、過疎化、新興住宅地において近隣関係の希薄化などが当たり前となったこの国で、町内会という形態を保つていくということは大変難しいのではないのでしょうか。なぜ生実町ではこうした伝統を維持出来ているのか、我々には疑問が残りました。」(盆踊り・花火大会)

「今回の活動では、地域の力」というものを圧倒される程拝見させて頂きました。人と人との結びつきの強さの可能性、仲間意識の大切さ、積極的な行動によって生まれる温かみ、懸命に努力することによって抱かれる誇りなど、今回参加しなければ決して分からなかったであろう重要な思いに触れました。ここで生まれた気持ちはきつと今後の人生においてとても役立つものになることでしょう。」(盆踊り・花火大会)

学生たちは、町内会の皆様のおかげさまで、このようなかけがえない出会いの体験をさせていただいております。今後は、感じた

疑問等を解くべく主だった方々への聴き取りをさせていただきたいと存じます。また、次年度以降も継続してかわらせていただきます。いと念願しております。ことに、私どもの大学で来年度発足するコミュニティ政策学部は、地域貢献とサービスマーケティングを積極的に取り入れた教育を目指しております。

今後とも、地域活動を自らの課題として考えていける人材の育成に、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

生実町会館

事務 末 武 広子

生実町会館で町内会の事務員としてお手伝いを始めてもうすぐ二年になります。大変活動的な町内会ですが、各役員・組長・町内会会員の皆様方の協力で、大変気持ちよく働かせていただいております。まだまだ至らない点も多いですが、今後ともよろしく願っています。

また、会館利用についてもお気軽にお問い合わせ下さい。

会館 四二六八―一九四六
(月・水・金 9時～13時)

大皿クロム
水質検査のお知らせ

日時 2月7日(日曜日)
午前8時～10時
場所 生実町会館、社務所

詳細は回覧板にてお知らせをいたしますが、時間等間違えのないようにご協力お願いいたします。

編集後記

年内も残りすくなくなつてまいりました。この一年は皆様にとりましてどんな年だったでしょうか？皆様のご協力の下、我が生実では大きな事故もなく、無事一年が過ぎ去ろうとしております。

新型、季節型インフルエンザなど猛威を振るっておりますが、お身体ご自愛下さりまして、良いお年をお迎え下さい。

(総務)

